

CASBEE® - 建築(新築)

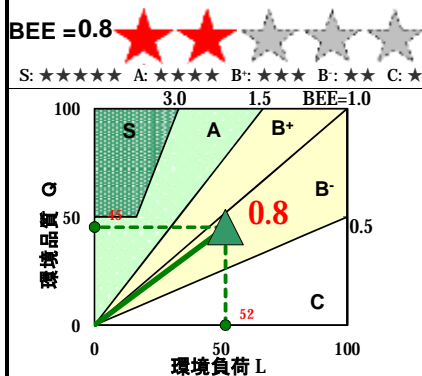
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

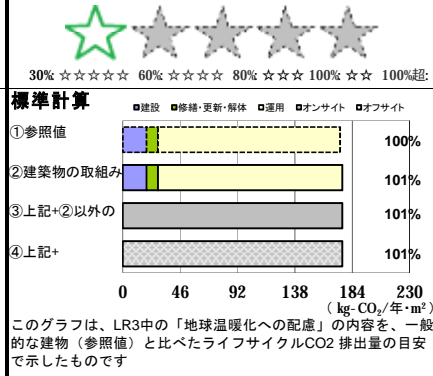
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)江坂町1丁目プロジェクト	階数	地上14F
建設地	吹田市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年4月8日
敷地面積	707 m ²	作成者	生和コーポレーション(株)和田
建築面積	470 m ²	確認日	2016年11月23日
延床面積	4,691 m ²	確認者	生和コーポレーション(株)百合



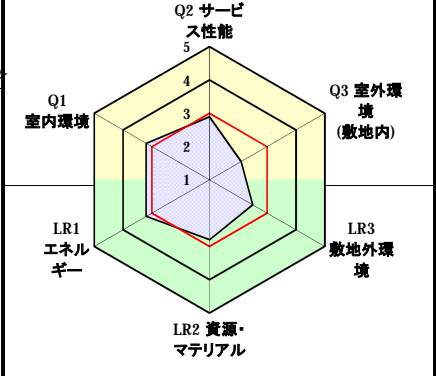
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



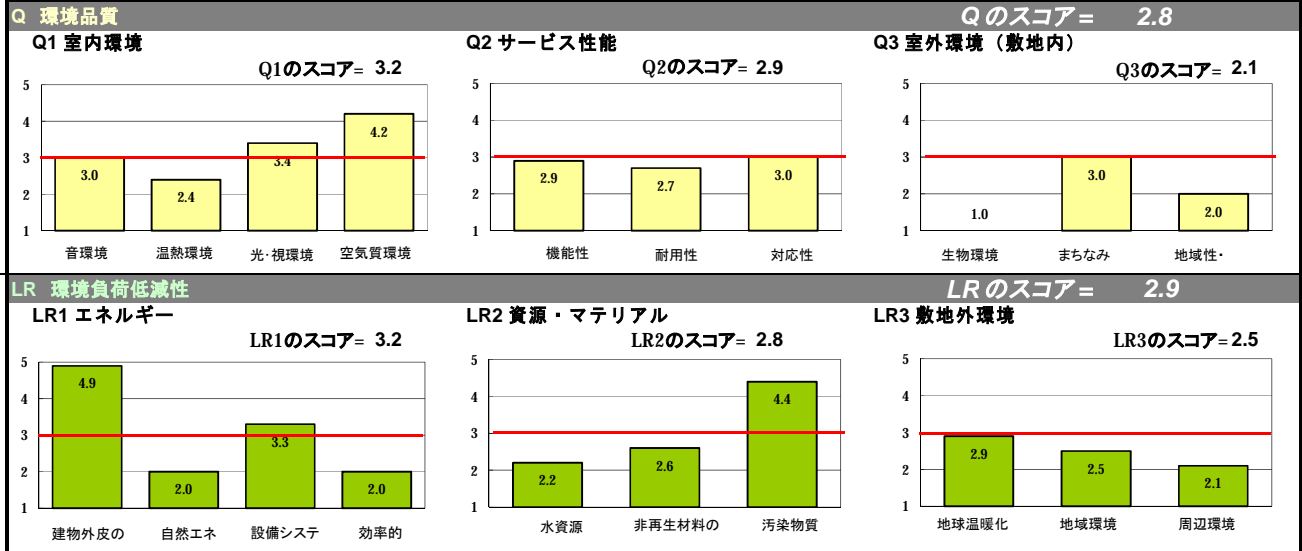
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
住宅部と事務所部の動線は、明確に分ける。	特になし。	
<p>Q1 室内環境</p> <p>住宅部分開口部は遮音等級T-2を使用。住宅部分の開口部における昼光率はレベル5を確保した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリー新法の建物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。住宅部分の居室天井高さは2.5m以上を確保している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物を道路境界よりセットバックさせ、植栽を設けている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>事務所部分はBEI値で0.82を確保した。住宅部分は省エネH28年度基準で基準値をクリアしている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特になし。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>遵守しなければならない法規制を守り、地球温暖化へ配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0117

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)江坂町1丁目プロジェクト新築工事					
		建設地	吹田市江坂町1丁目12番8、12番32					
		用途/区分	集合住宅 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				2.9	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.9	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					2.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								